

NPO インターン受入団体情報シート

▶ 団体情報

団体名	さとり株式会社 (いわて Re ファームプロジェクト / ワカモノカケル)
活動地域(市町村)	大槌町・北上市
団体 & 活動紹介 * 300 字程度	<p>私たち、さとり株式会社は「好きと生きる」をスローガンとして掲げています。過疎化が進む中山間地域 = 里山を起点に、未価値となっている地域資源 (課題) と好きなこと・やりたいこと (想い) を掛け合わせることで、人と地域がともに開花しあえる社会を目指した様々な事業を展開しています。</p> <p>しぜん部門・つなぐ部門・つくる部門の3部門で事業を行っており、再生農業・食農体験、移住支援・関係人口事業、企画デザイン事業など 枠に捉われない事業展開が弊社の強み・おもしろさです。</p> <p>▼参考資料 https://docs.google.com/presentation/d/17WkXg7VzjX5grOVvDN1vuw6u-vhcxF6Vd6bRNIUOQ6U/edit?usp=sharing</p>
団体 HP URL	— (作成中)
団体 SNS① URL	https://www.instagram.com/refarm_iwate/
団体 SNS② URL	https://www.facebook.com/profile.php?id=100011586130301

▶ 受入担当者情報

名前	伊藤 将太
名前 (かな)	いとう しょうた
肩書き	代表取締役
自己紹介 * 300 字程度	<p>ビジネス系専門学校を卒業後、人事労務コンサルティング、起業支援 / 資金調達コンサルティング部門の新規立ち上げ、採用人事コンサルティング部門の新規立ち上げを経験 (仙台→東京)。その後、独立しフリーランスとして活動。2020年に地元岩手へUターンし、地域振興系の企画/プロジェクト制作会社へ入社。その後、大槌町地域おこし協力隊1期生として移住し、移住定住事務局の立ち上げ・地域おこし協力隊の採用プロモーション、関係人口企画の立ち上げを行う。2023年5月にさとり株式会社を設立。「里山を盛り上げ守り繋ぐ」ことをミッションに掲げ、農業・移住支援・企画デザインなどの複合事業を行っている。</p>

<p>参加者を検討している人へのメッセージ</p> <p>* 200 文字程度</p>	<p>弊社は「好きと生きる」をスローガンとして掲げています。過疎化が進む中山間地域＝里山を起点に、未価値となっている地域資源（課題）と好きなこと・やりたいこと（想い）を掛け合わせることで、人と地域がともに開花しあえる社会を目指した様々な事業を展開しています。</p> <p>「いわて Re ファームプロジェクト」は、耕作放棄地となっている農地を受け継ぎ 有機農法で野菜やハーブを栽培し、野菜販売・食農体験・商品開発等を行っているプロジェクトです。</p> <p>「ワカモノカケル」は、町外の大学生を地域へ呼び込み、町のやりたいこと（課題）と参加者のやりたいこと（想い）を掛け合わせて企画アクションを行う 1 週間のチャレンジプログラムです。</p> <p>どちらも「好きと生きる」社会を地方から作っていくための企画になります。農業が好きな人、地域おこしに興味がある人、どちらでも OK です。ぜひ一緒に楽しんで活動していきましょう！</p>
--	--

▶インターン情報

<p>プロジェクト名</p>	<p>いわて Re:ファームプロジェクト / ワカモノカケル</p>
<p>プロジェクト内容 (背景・課題も含む)</p> <p>* 300 字程度</p>	<p>「いわて Re ファームプロジェクト」は、耕作放棄地となっている農地を受け継ぎ 有機農法で野菜やハーブを栽培し、野菜販売・食農体験・商品開発等を行っているプロジェクトです。大槌町では近年獣害の被害が増加していること、農業人口の高齢化と減少から、耕作放棄地の増加が顕著となってきています。その課題を解決するために、耕作放棄地を借り受け開墾し、有機野菜と食農体験を提供するプロジェクトを行っています。現在は大槌町のほか、北上市にも圃場を持っており、今後は山田町・釜石市などの他市町村にも展開を視野に入れて活動しています。</p> <p>「ワカモノカケル」は、町外の大学生を地域へ呼び込み、町のやりたいこと（課題）と参加者のやりたいこと（想い）を掛け合わせて企画アクションを行う 1 週間のチャレンジプログラムです。</p> <p>見知らぬ土地で一人で行うのではなく、チームを組んで企画を考えアクションまで 1 週間で行うことが最大の特徴になります。非日常の空間（越境）でチャレンジすることで、新しい自分の価値観に気づいたり本当に自分がやりたかったことに気づくきっかけにもなります。今年春に初めて本企画を実施し、今年夏には第二回の実施を考えています。</p>